

月心会 関東大会型 試合予選選定について

2023年2月25日 審判長 小山真示

1. クラス分けについて

(1) クラス分け

- ① 一般の昇段・昇級審査後、クラス別に試合参加者の人数を確認し審判長に報告
- ② 審判長は、宗家代理や事務局に確認の上、クラス統合を判断する。

(2) 参加人数別、決勝トーナメント選出人数

- ① クラス別の決勝トーナメント選出人数は次の通り。
1～3名：1名、 4～7名：2名、 8～10名：4名、 11名以上：8名

2. 決勝トーナメント選出方法

(1) 審判の人数

- ① 審判の人数は可能な限り主審を含め3人以上とする
試合の単位人数
- ① 予選参加者の人数が8名を超える場合、原則最大8名単位に分割する

(2) 型試合の方法

- ① 最大8名単位のグループ毎に第1回目の型を実施させる
ここで、審判はグループ全体の型の水準感を持つ
- ② 第2回目の演武で各審判は選手毎の採点をつける。
 - ・審判は◎選出確実、○選出可能、△、×失格、で区別し、審判毎に◎、○でトーナメント選出人数となるようにする。
 - ・審判全員が、◎、○の場合原則そのまま選出
- ③ 決勝トーナメント選出への人数の増減（3回目）
 - ・◎、○の人数が予選選出人数に満たない場合、もう一度全員で型試合を行う。審判は、2回目で選出した選手以外で採点を行い、◎、○、△、×の状況で、残りを選出
 - ・同点の場合など、決めきれない場合、主審が判定する
- ④ 決勝トーナメント選出への人数の最終調整（4回目）
 - ・3回でどうしても決めきれない場合、4回目で最終決定する。
 - ・4回目ももう一度全員で型試合を行うこととする。ただし、4回目の試合は進行時間に負担をかけることから、短時間で判断する。

以上